

令和元年度第2回小牧市少年センター運営協議会 議事要旨

【日 時】令和2年2月18日（火） 午後2時～午後3時30分

【会 場】勤労センター 中会議室

【出席委員】采女 隆一、加藤 邦彦（代理 袴田教頭）、山田 幸男、
木村 由美、野々川 和明、稲垣 幸恵（6名）

【欠席委員】小川 真由美、小島 康資、水草 貴裕、鈴木 邦充（4名）

【事務局】櫻井こども未来部次長、永井課長、永井少年センター所長、舟橋指導員、千種指導員、小林係長、濱島主事

【ワザパー】永井口主幹（市民安全課）、瀬尾指導主事（学校教育課）

【傍聴者】なし

【内 容】

1 あいさつ

《野々川会長》

日頃から委員の皆様方におかれましては、青少年の健全育成のためにご尽力いただいていること、お礼申し上げます。

青少年をとりまく課題について、今の社会情勢の中では最重要課題だと思っております。総務省の発表によりますと、日本は子どもの増加率が世界中で一番少ないといわれております。21世紀を担う子どもが立派な大人になるよう見守る上では、少年センターは重要な機関であると思っております。

本日は今年度の事業経過報告と次年度の事業計画案ということで、皆様方から忌憚のないご意見を頂きたいと思っております。

《櫻井次長》

日頃から青少年の健全育成のため格別のご尽力を賜りお礼申し上げます。

最近では、青少年への急速なスマートフォンの普及により、ネットの長時間利用やネットいじめ及びネット詐欺等のトラブルが多発しており、その影響が懸念されています。

このように青少年の抱える問題は、社会の変化とともに日々変化し、複雑化しておりますが、小牧市少年センターでは少年の非行・被害を防止し、健全な育成を図るため、街頭パトロールや相談事業などを中心に活動しています。

本日は今年度の事業経過報告及び来年度の運営計画（案）を議題としておりますので、忌憚のない意見をいただきたいと思っております。

今後とも青少年の健全育成・非行防止のためお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

2 新委員紹介

市議会福祉厚生委員長の交代により、令和元年10月16日より小川真由美議員が新委員に就任。

主任児童委員の交代により、令和元年12月1日より稲垣幸恵様が新委員に就任。

3 議 題

(1) 令和元年度事業経過について

○資料1 ページから4 ページに基づき少年センター所長より説明

(2) 令和元年度補導活動状況について

○資料5 ページから9 ページに基づき少年センター舟橋指導員より説明

(3) 令和元年度相談受理状況について

○資料10 ページから11 ページに基づき少年センター千種指導員より説明

(4) 令和元年度青少年健全育成モニター活動状況について

○資料12 ページに基づき少年センター所長より説明

(5) 令和2年度小牧市少年センター運営計画（案）について

○資料13 ページから14 ページに基づき少年センター所長より説明

【質疑応答・意見】

(木村委員) 相談チラシやポスターの配布は継続的に広く行っているの、悩んでいる子を助けることができているのかなと思う。これからも続けてほしい。

4 懇談

(山田委員) 昨年の少年非行の結果についてご報告させていただく。昨年小牧市内で検挙された子どもは76名いた。一昨年は128名で非常に多く県下2位の多さだったが、今年も5位と件数が多い。補導も950件であり、未然に犯罪を防げたと考えればよいことかもしれないが、件数としては多く良い状況だとはいえない。昨年末から今年に入って、集団での窃盗や暴行事件等で延べ17名逮捕している。今年も少年事件は多い状況であるというご認識をいただきたい。

(野々川会長) 年齢的にはどのくらいの子どもの多いのか。

(山田委員) 17歳で無職の子どもが多い。非行少年が中学生を引き込んでいくと犯罪が低年齢化してしまう。何とかそういった少年と中学生を引き離し、非行少年のグループを解体したい。

(野々川会長) 件数が多いのは同じ少年によるものなのか。

(山田委員) 自転車盗などは同じ子どもが再び犯行に走ることは多い。

- (袴田教頭) 高等学校では、全県的にたばこの使用は少なくなったが大麻の被害が懸念されている。媒介をしているのはインターネットによる交友に広がりだと思ふ。実害が生じれば学校として対応ができるが、まだそのような例を把握する事は難しく憂慮している。インターネットでは普通の生徒でもアクセスできてしまうため、市や他機関でもインターネットパトロールをやっていただけるようになると安心できるのではないかと思ふ。
- (事務局) 1～2日のパトロールでかなりの件数が発見されると聞いたことがある。専門の方に依頼をするとかなりの額の予算執行が見込まれるため、市でやるべきなのか、県下一斉で実施すべきものなのか、検討していきたい。
- (采女委員) 時代が大きく変わる中、非行集団はある一定の集団を注視すればよいが、ネットの問題はいつ誰がどこでかかわってしまうかわからない。文科省は子ども1人に1台のパソコンを与えるGIGAスクール構想を打ち出しており、子どもをネットから切り離すことは難しい。スマホやネットを規制するより、子ども達が与えられた環境の中で取捨選択できる能力を育んでいかななくてはならないと思ふ。SNSをどう規制していくかも大切だが、SNSの世界の中にいる子ども達にどう注意喚起していくかを考えなくてはならない。健全育成に関わる方々にもそんな認識をもって子ども達と関わっていただけるとありがたいと思ふ。人と人が繋がるような健全育成の指針について、これからも小中学校を代表してお願いしたい。
- (野々川会長) 街頭補導をしても、昔のように集団でシンナーやたばこをやっている子もおらず、子ども達がどこで何をしているかわからないので、対策をしていかななくてもならない。

5 連絡依頼事項

特になし